

2022年1月期 第3四半期
決算説明資料

バリューゴルフ
VALUE GOLF

株式会社バリューゴルフ

2021年12月14日

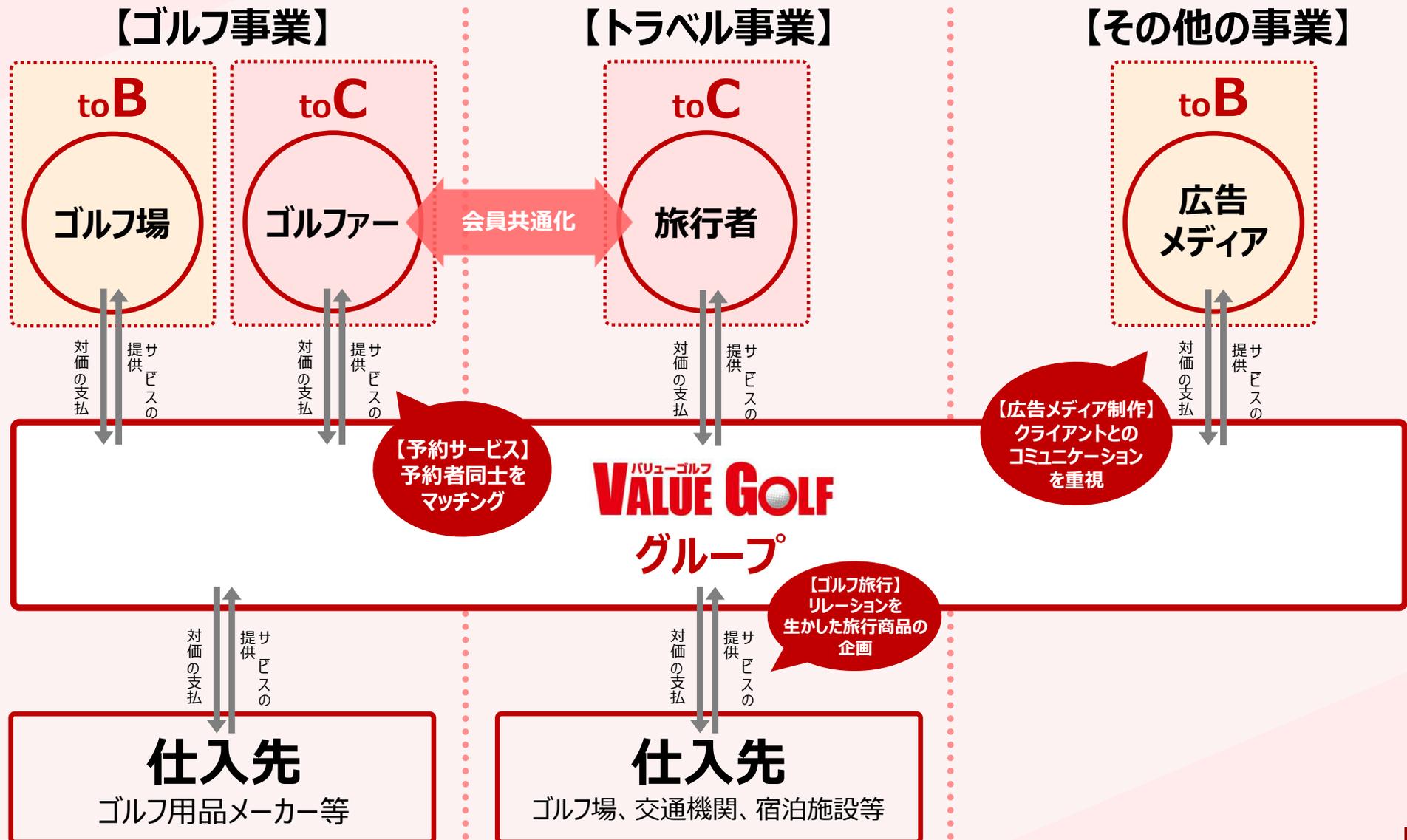


目次

■ 経営成績ハイライト	4
2022年1月期 第3四半期 連結決算の状況	
■ 経営環境及び業績の推移	9
経営環境とセグメント別業績	
■ 業績進捗状況	17
2022年1月期 第3四半期 業績進捗の状況	
■ 通期連結業績予想	19

ビジネスモデル

当グループは「ゴルフ事業」、「トラベル事業」、「その他の事業」の3つのセグメントで開示を行っております。



2022年1月期 第3四半期

経営成績ハイライト

連結損益計算書

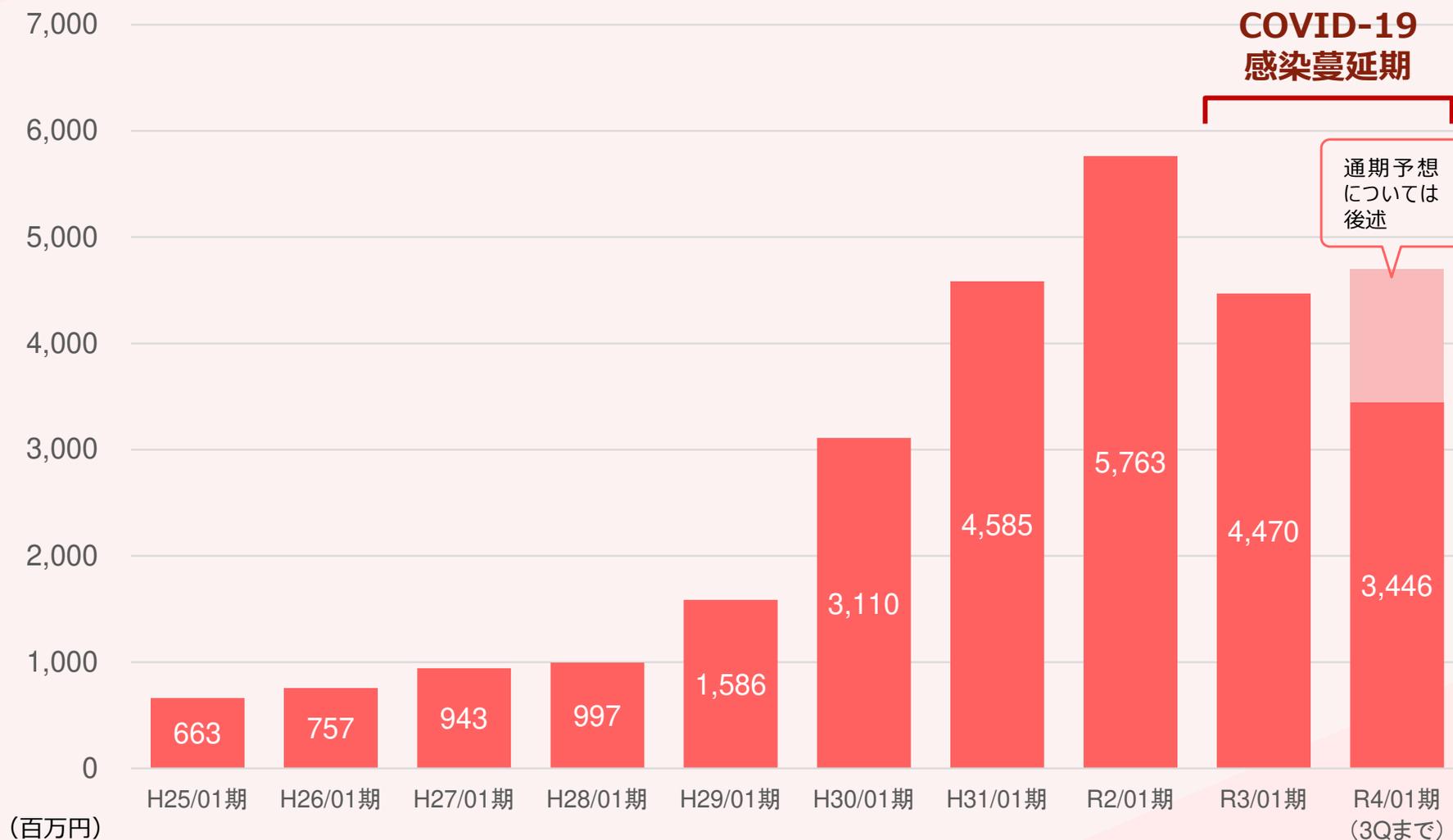
第3四半期利益
過去最高

単位：百万円

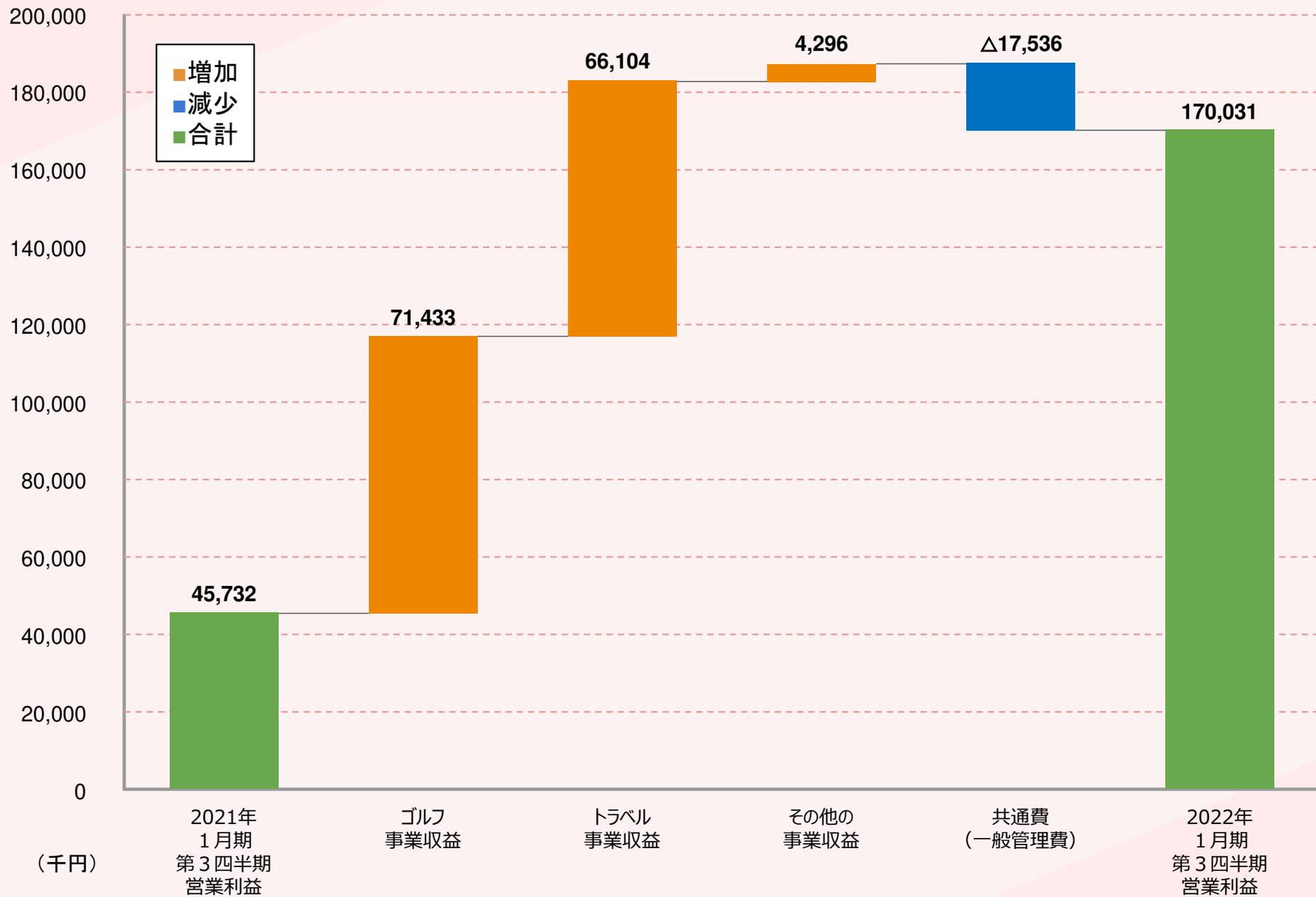
	2021年1月期 第3四半期	2022年1月期 第3四半期	対前年同期 増減	主な要因
売上高	3,326	3,446	+3.6%	ゴルフ事業を中心に増収し、トラベル事業の減収を吸収
売上原価	2,351	2,314	△1.5%	ゴルフ事業の原価削減とトラベル事業の減収に伴う減少
売上総利益	975	1,131	+16.0%	
販売管理費	929	961	+3.4%	人材及び販売促進費等への投資に伴う増加
営業利益	45	170	+271.8%	創業以来第3四半期の営業利益として過去最高の着地
経常利益	50	159	+217.2%	創業以来第3四半期の経常利益として過去最高の着地
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△7	94	+101百万円	

売上高の推移

トラベル事業においてはCOVID-19の影響が継続。一方で、ゴルフ事業をはじめとするグループ全体の業績は手堅く成長し、順調に推移いたしました。



利益の増減分析



連結貸借対照表

単位：百万円

	2021年1月期	2022年1月期 第3四半期	増減額
流動資産	1,829	2,327	+497
固定資産	247	212	△34
有形固定資産	42	41	△1
無形固定資産	26	17	△9
投資その他の資産	178	153	△24
資産合計	2,076	2,540	+463 ※1

	2021年1月期	2022年1月期 第3四半期	増減額
負債合計	1,076	1,455	+379 ※2
流動負債	886	1,230	+344
固定負債	189	224	+34
純資産合計	1,000	1,084	+84 ※3
株主資本	998	1,081	+83
その他	2	3	+0
負債純資産合計	2,076	2,540	+463

主な要因

※1 現金及び預金の増加（202百万円）、旅行前払金の増加（46百万円）、商品の増加（210百万円）

※2 短期借入金の増加（259百万円）
 ※3 四半期純利益の計上（94百万円）

2022年1月期 第3四半期

経営環境及び業績の推移

経営環境

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、依然として厳しい状況が継続。

一方でワクチンの摂取や治療薬の開発が進み、
企業収益を中心に経済の持ち直しも見られる。

新政権発足も
支持率は不透明

ワクチン接種証明書
の交付申請受付
開始

GDPは
前期比0.8%減
※7~9月期

パリューゴルフ
VALUE GOLF
グループ

日本国内における
ワクチン接種率（2回目）が
75%を超える

上場企業業績は
持ち直しも見られるが、
一方で部品調達停滞や
原油高の影響もあり

デジタル庁が
発足し、DX推進への
動きが加速する

業績ハイライト

ゴルフ事業

売上高	2,908百万円	前年同期比 8.6%増
営業利益	437百万円	前年同期比 19.5%増

1人予約ランドをはじめ、ECサービス、バリューゴルフ大崎等の各サービスが堅調に推移いたしました。

トラベル事業

売上高	516百万円	前年同期比 16.4%減
営業利益	△18百万円	前年同期実績より 66百万円改善

継続的に緊急事態宣言が発令される中、国内企画旅行への注力、人員配置の見直し等を行い、損失幅を最小限に圧縮いたしました。

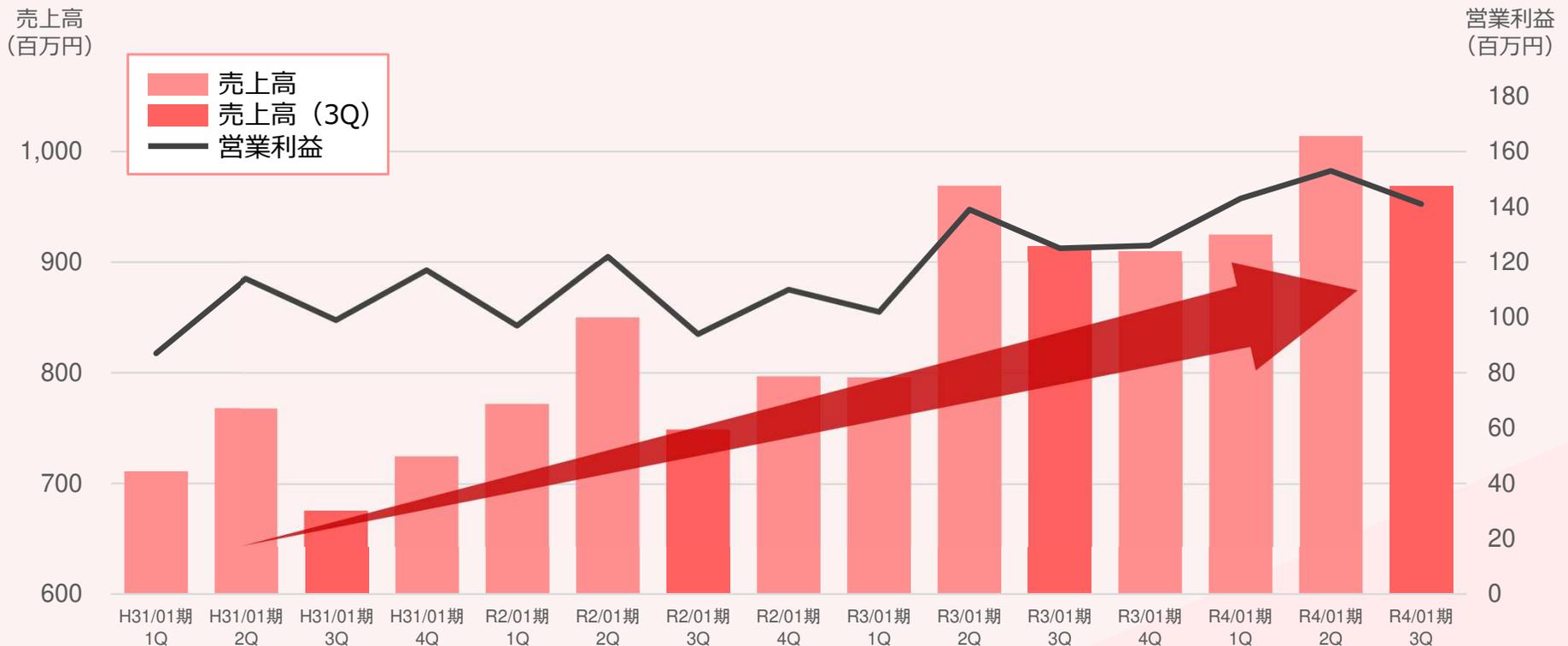
業績の推移①（ゴルフ事業）

◆事業の概況

新型コロナウイルス感染症拡大のさなか、ゴルフが「3密」を避けられるスポーツとしてゴルフ場利用者数は増加傾向にありました。そのような状況の中で集客サービスにも注目が集まっております。当社の『1人予約ランド』をはじめ、『月刊バリューゴルフ』や『VALUEGOLF WEB』等の各種サービスも堅調に推移し、拡大傾向が持続いたしました。

また、ECサービスにおいては、自社インターネット通販サイトの全面リニューアル等の積極的な投資を行い、引き続き好調を維持しております。一方で海外製品の商品供給が安定しておらず、国内製品の仕入を強化するなどの対策をおこなっております。

レッスンサービスにおいては、試打・練習・インドアレッスン・コースレッスン・ショップといったサービスを展開する複合ゴルフ施設として認知が進み、会員数も堅調に推移いたしました。本番に近い環境でレッスンを受けられるオンコースレッスンも対応コース数が増え、より広いエリアでサービスを提供いたしました。



業績の推移②（ゴルフ事業）

◆今後の展望

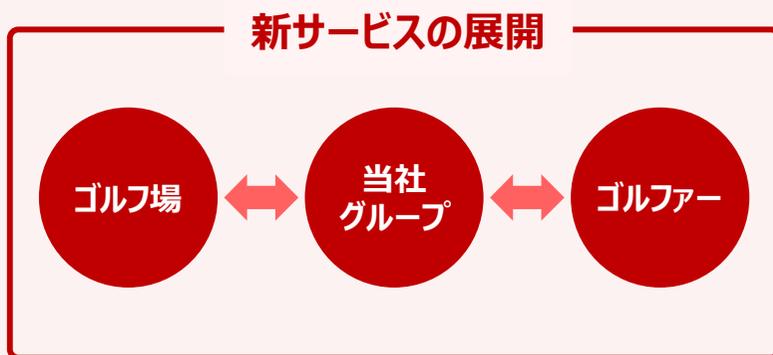
■新サービスの展開

これまでに培ってきたゴルフ場との強固なリレーションを活用した新規事業の展開を行ってまいります。ゴルフ場には、課題であるプレー枠の有効活用や経営戦略の一助となる様な商品を提供、それによりゴルファーが気軽にプレーできるサービスを開発しております。当社が保有する80万人超の会員情報を有効活用し、ゴルフ場とゴルファー双方にメリットのあるゴルフ業界活性化プロジェクトを遂行してまいります。

■複合ゴルフ施設のサービス拡大

【レッスン】+【レンジ】+【試打（フィッティング）】+【販売】の機能を持つ複合ゴルフ施設の多店舗展開へ向けて、ノウハウを体系化しビジネスの加速化を推進いたします。

また、施設利用料等の売上確保と新規顧客獲得を目的として、弾道計測器（トラックマン）等の設備へ投資。サービスラインナップを拡充し、顧客満足度向上と顧客単価アップを目指してまいります。



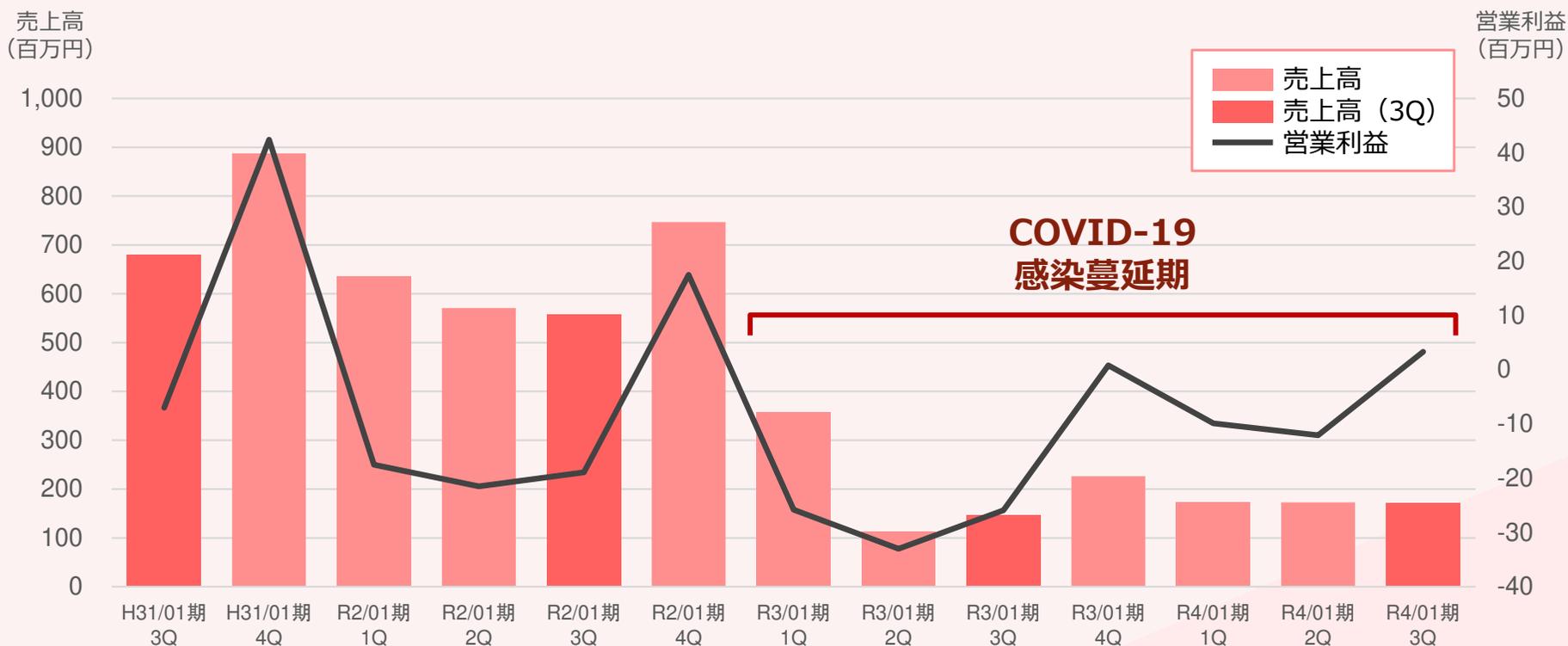
業績の推移①（トラベル事業）

◆事業の概況

引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受ける中、従業員の一時帰休等のコスト削減に努めました。また、在日外国人帰国時の感染症経過観察待機期間に対応した交通と宿泊を組合せた商品の販売等を行いました。国内募集企画旅行については、参加者のPCR検査を実行するなど、感染拡大防止に努めております。

当期第2四半期より開始した各地の特産品販売も好評を得ております。今後も旅行事業のネットワークと知見を生かし、入手が困難な商品や質の高い商品を提供してまいります。

社内体制におきましては、新型コロナウイルス感染症収束後の航空券需要増加を見据え、人員配置の最適化を行うことで営業力の強化をいたしました。



業績の推移②（トラベル事業）

◆今後の展望

■政府の需要喚起策対応

「Go To トラベルキャンペーン」等、政府の消費喚起策への対応のため、仕入を強化。速やかに商品を提供できる体制を構築いたしました。いわゆる「リベンジ消費」と呼ばれる購買心理の改善とあわせて、旅行商品の購入促進につながるものと思われまます。

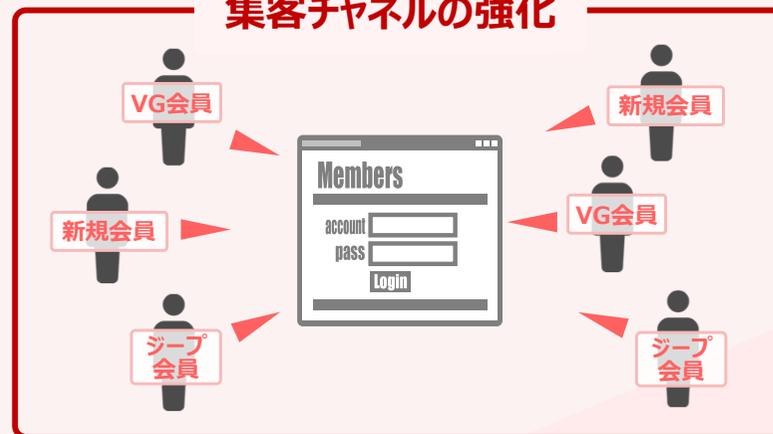
■集客チャネルの強化

決済機能組み込みによる顧客の利便性向上、集客の効率化、業務オペレーションの改善を目的として、旅行商品WEB予約サイト構築を推進いたしました。また、バリューゴルフ社やジープ社の会員情報を相互に活用し、販路の強化を行うことで、売上の拡大を目指します。

需要喚起策対応



集客チャネルの強化



成長イメージ

当社は**売上高100億円**、**営業利益10億円**を当面の目標としております。

既存事業を強化するとともに、**新規事業への投資**を行い、事業間シナジーを強化。
また、**M&A**を積極的に行うことにより、成長を加速させてまいります。

M&Aによる拡大

その他
+α

新規事業の強化

ゴルフ事業 15億円
トラベル事業 10億円

既存事業の強化

ゴルフ事業 50億円
トラベル事業 25億円

100
億円

2022年1月期

業績進捗状況

業績進捗状況

当期第3四半期の営業利益進捗率は2021年3月12日公表の通期業績予想（180百万円）の94.5%と計画を上回り着地。⇒業績予想を修正

当期第3四半期は営業利益が前年同期比+271.8%と計画を上回る進捗率で推移しております。最新の業績動向を踏まえ、2021年3月12日に公表した2022年1月期の通期連結業績予想を修正いたします。

単位：百万円

		第1四半期	第2四半期 ※累計期間	第3四半期 ※累計期間	第4四半期 ※累計期間
2021年 1月期	売上高	1,175	2,257	3,326	4,470
	営業利益	△5	20	45	91
2022年 1月期	売上高	1,104	2,296	3,446	—
	営業利益	51	107	170	—

第3四半期
営業利益
過去最高

2022年1月期

通期連結業績予想

通期連結業績予想～2022年1月期～

2021年3月12日公表の業績予想から修正いたします。

緊急事態宣言の発令や政府からの外出自粛要請等によりトラベル事業の売上高は影響を受けましたが、リストラクチャリングが奏功したこととゴルフ事業の業績が順調だったため、当社グループとして**過去最高の営業利益2.2億円、経常利益2.0億円を達成する予想**となっております。ゴルフ事業は「1人予約ランド」「ECサービス」を中心に成長基調が継続、トラベル事業では引き続きCOVID-19の影響により国内旅行の売上は徐々に回復するものの海外旅行の需要は不透明な状況が継続するものと仮定し、業績予想を算定しております。

単位：百万円

	2021年1月期通期実績	2022年1月期通期予想 (対前期比) ※3/12公表	2022年1月期通期予想 (対前期比)
売上高	4,470	5,800 (130%)	4,700 (105%)
営業利益	91	180 (197%)	220 (240%)
経常利益	99	170 (172%)	200 (202%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	△32	100 (+132百万円)	130 (+162百万円)

通期
営業利益・
経常利益
過去最高
の業績予想

※上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。



本資料の著作権は株式会社バリューゴルフにあります。本資料の内容の一部または全部における無断転載を固く禁じます。
本資料に関するお問い合わせは 当社IRグループ (ir-inquiry@valuegolf.co.jp / 03-6435-1535) までお願いします。



東証マザーズ上場

証券コード：3931